

□総務環境委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
人口減少対策	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市は、合併当時より人口が減少している。人口減少に対する対策は必要であるため、他市の対策を参考にしてほしい。 ・支所地域は、市街地より不便なことが沢山ある。人口減少の現状に対し、支所地域に住むことに対する優遇施策を大胆に実現し、活性化に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市は、岐阜県内で移住者が一番多い自治体です。また、令和3年度から移住を検討している人が移住後に地域で安心して生活ができるよう、移住者と地域の橋渡しをする高山市移住コーディネーターを設置し、移住者の支援を行っています。さらに移住者が増え、定住につながるよう魅力あるまちづくりや環境整備について調査研究します。 ・支所地域の活性化については、第八次総合計画の後期計画で、各支所地域のまちづくりについての方向性が示されています。その方向性に沿った具体的な取り組みが行われるよう注視するとともに、他の政策についても調査研究します。
DX推進	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードのデジタル利用や防災情報の取得など通信機器の利用が求められる中、高齢者のスマートフォン利用を広めるための使い方教室を開催するなど、高齢者が取り残されないような配慮をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の「DX推進計画」では、市民サービスの向上を目指して、人にやさしいデジタル化を推進しています。誰一人取り残さないとの考えから高齢者等が安心して利用できる環境整備やDX推進について、調査研究します。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害を未然に防ぐ対策の発案があってもいいのではないかな。 ・昨年7月の豪雨で宮川防災ダムがオーバーフローしかけた。今後、想定外の降水量となった場合、下流域で大水害が起きるのではないかな。また、安全のためにも機能強化が必要ではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害を未然に防ぐには、防災情報の多様化により的確に情報伝達することや各地域での自助・共助を主体とした地区防災計画の策定で命を守る一層の取組の推進、インフラの予防的整備による安全対策などが求められます。さらなる防災対策の強化推進の取組について議論を深めます。

□福祉文教委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> 支所地域では、高齢化率の上昇や運転免許の返納が進む中で、食料品や日用品などを販売する地域の店舗が減少している。今後、さらに買い物が困難になっていくこととなるが、買い物支援対策を進めてほしい。 支所地域では少子高齢化が深刻化している。ヘルパーに従事する人も減っていることから、高齢者の家族や独居の方々への支援を真剣に考えていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活必需品の購入が困難となることは、大きな課題として受け止めています。移動販売を取り扱う事業者には努力していただいておりますが、移動販売の拡大が必要であると考えます。また、公共交通機関の整備などの面からも買い物支援に関する調査研究を進めます。 支所地域で不足している訪問サービスの提供を促進するため、今年度から支所地域訪問サービス確保事業が始まりました。事業の実施状況を見極める中で、支所地域における訪問介護の充実を求めます。
町内会	<ul style="list-style-type: none"> 町内会への負担が大きくなる一方で、少子高齢化と人口減少により、役員のなり手不足など町内会の運営が厳しくなっていることから、町内会のあり方について検討する時がきているのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化、人口減少により町内会活動に支障が生じていることから、町内会のあり方について様々な意見があることは承知しています。活動が負担になっていることは理解できますが、地域のつながりはとても重要であり、地域における支えあいの観点から、今後も町内会のあり方について調査研究を進めます。
校区の再編	<ul style="list-style-type: none"> 岩滝小学校は今後全児童で4～5人となる見込みとなっており、子どもの将来を考えると、東小学校への統合を考える必要があると思う。 小学校がなくなることは、より過疎化につながるかもしれないが、今後の児童数のことを考えると統合の時期にきているのではないかと。多人数での学校生活や少数児童に対する職員数、PTA活動の役員の負担等を考えるとメリットは大きいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の統廃合については、地域にとって大きな課題であることから、子どもたちの将来や地域振興等に関してその地域の関係者による十分な協議が重要であると考えます。
通学費補助	<ul style="list-style-type: none"> 市の高校通学補助制度は定期券購入費の3分の1となっているが、上宝地域からは年間32万円程度の定期券購入費がかかるため、飛騨市の高校へ通学する学生もいる。生徒が望む高校で学べるよう、地域の実情も踏まえ限度額を増額するなど補助制度を見直していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校通学補助制度について、利用者からは制度の効果に関する意見も伺っています。ご意見にある上限額の引き上げ等補助制度の見直しについては今後調査研究します。
公園整備	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して遊べる魅力ある公園が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の福祉文教委員会が公園のあり方に関する政策提言を行っています。市は今後の施設のあり方、配置計画及び新たな公園整備について考え方を整理することとしています。
郷土教育	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃から地域の人たちとの交流機会を持ちながら高山で暮らしたいと思えるような心を育てる教育も大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが地元で愛着を持つための郷土教育は重要であると認識しています。引き続き郷土教育の推進を求めます。

□産業建設委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
観光・労働	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコピア、モンデウスのスキー場について問題提起されたが、その後の進展は。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光業は大打撃を受けている。いろいろ手は打っていただいているが今後も継続してほしい。 ・駅周辺にホテルが多く建設されているが、景観は検討されたのか。あれが高山の観光なのか、疑問に思われないのか。 ・地元へ帰郷しようとしても就職先がない。企業誘致を進め、若者が帰郷したくなるようなまちづくり、働く場所の充実を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月20日の産業建設委員会に、スキー場のあり方に関する検討結果と方向性についての協議が出されました。委員会の意見として、今後の持続可能な地域経営という視点から、年間を通じた地域振興策が極めて重要であること、地域資源をさらに活かすこと、広域的な視点で今後の取組を図ること、市民に広く働きかけながら情報を共有し、強く関心を持っていただけるようにすること、今後のスノーリゾートとしての再生を図る余地というものも含みおきながら全体をまとめていくことを申し伝えました。 ・滞在型の観光メニューの造成を強く意識しながら、緊急経済対策における助成制度も継続していくよう働きかけます。 ・駅周辺のホテルは、高さ制限のある規制区域での建設ですが、飛騨山脈等を含めた遠景との関係を考えてみると、以前と比べ景観が損なわれていると感じています。夕食が無いシティホテル並みの対応のホテルばかりが目立つようになると、おもてなしに少し欠けるところがあるのではないかと危惧しています。 ・若者が帰郷したくなるためには、時流を踏まえた多様な職種の創出と所得水準の向上、社会保障制度の充実等により将来不安を和らげる方策を検討する必要があります。企業誘致は、日本経済の動向もみながら進めていくことが必要であると考えます。そうした環境が早く実現できるよう、産業・観光施策についても充実させていきます。
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化に対する対策が今後の課題であり、自然豊かな地域を活用した農林業を中心に付加価値を上げる政策を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会としても推進すべき政策であると考えています。令和3年5月に、林業の成長産業化と森林経営管理の推進による持続的な林業の確立について政策提言をしています。今後も継続的に議論を重ねていきます。
災害復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧を進め、安心して暮らせる地域になるよう力を入れていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧高山地域での外縁部となる地域に留まらず、支所地域に共通する課題であると認識しています。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や車の運転が困難な方のために、病院や買い物等の交通手段の充実を望む。また、バスやタクシー代の補助を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支所地域では、医療や生活物品の提供が困難な状況が顕在化しています。補助制度もありますが、サービス提供事業者への支援についても調査研究します。